

あきる野市森林整備推進協議会議事録（要約）

1 日時

令和2年2月12日（水）午後2時から3時30分まで

2 場所

五日市地域交流センター第2研修室

3 出席者

（1）委員

黒山会長、市川副会長、池谷（勝）委員、池谷（キ）委員、清水（浩）委員、清水（政）委員、杉野委員、南沢委員、竹内委員

（2）オブザーバー（東京都産業労働局森林事務所）

亀山氏、笹原氏

（3）事務局（農林課）

渡辺課長、清水林務係長、牧野林務担当主査、青木森林調査員

4 議事録（要約）

（1）開会

（2）あいさつ【黒山会長】

（3）オブザーバー紹介

（4）議事

ア 市の主な取り組みについて【事務局】

- ・森林再生事業について
- ・枝打ち事業について
- ・林道整備事業について
- ・市有林管理育成事業について

イ 森林環境税・森林環境譲与税について【事務局】

- ・創設の経緯や仕組みについて
- ・課税額や譲与額について
- ・市における森林環境譲与税の使いみちについて

【委員】

森林環境税の税額（1,000円）は所有森林の面積に応じて増減するのか？

【事務局】

所有森林の面積に関わらず、個人住民税均等割として1人1,000円が徴収される。

【委員】

現行の個人住民税均等割の税額に1,000円が上乗せされるのか？

【事務局】

東日本大震災からの復興を図るための財源の確保に係る特例が令和5年度に終了した後の令和6年度から課税される。

ウ 森林経営管理制度について **【事務局】**

- ・創設の経緯や仕組みについて
- ・市は東京都や近隣市町村と連携して令和2年度に協議会を設置し、令和3年度以降に意向調査を実施する。

(5) 意見交換等

【委員】

台風19号により林道が損壊したが、今後の復旧計画は？

【事務局】

大きな被害は宝沢線、大沢線、伝名沢線であるが、宝沢線と大沢線は住宅や施設があるため優先して復旧し、伝名沢線は令和3年度以降に本復旧する。都管理林道も被害が多く、復旧が進んでいないため、盆堀線や深沢線の復旧も遅れている。来年度中には伝名沢線以外は終点まで自動車で行くことができる状態に復旧する予定である。

【委員】

林道の復旧に要する費用について、都の補助金等は無いか？

【事務局】

都の補助金や総合交付金を活用している。

【委員】

台風19号により都道（畔荷田）沿いの花粉対策事業地が崩落した原因は皆伐か？

【事務局】

多くの雨が降ったことは確かであるが、因果関係は分からない。林道や治山の施設は設置当時の想定を超えた雨量により多くが損壊した。

【委員】

林内に据え置かれた間伐材が沢の暗渠を詰まらせ、越流した雨水が林道等を破壊した。

【委員】

刈寄川の倒木を何とかしないと再び越水し、林道刈寄線を再び破壊することになる。土砂で川の水が潜っており、水がどこに行っているか分からない。

【事務局】

基本的には当該立木は所有者に撤去する責務がある。都は刈寄線の復旧を計画しており、事業者のトラックが頻繁に往来するため、仮設の迂回路を造る等と聞いている。

【委員】

以前から要望していた林道大岳線の開設工事が開始されるとのことであるが、ルートは決まったのか？少しは進展したと考えて良いか？

【事務局】

ルートははっきりとは決まっていないが、来年度の全体設計で決めることになる。

【委員】

共有林は所有者にとって、枷や荷物になっているが、先代達が植えた山を何とかしたい。連絡が取れない所有者はいないが、不在村が多く、5件ぐらいが先々代の名義のままとなっており、私達の代で何とかしないとねずみ算的に相続者が増える。森林環境譲与税を活用して森林の状況を調査することは重要であり、地味なことの良いので、地道に進めてもらいたい。

【事務局】

意向調査は、対象エリアを分けて段階的に数年かけて進めていく。

【オブザーバー】

森林経営管理制度について、都は6市町村と構成する協議会において協力していく。また、平成29年度に実施したレーザー航測で地形や資源量の情報を取得したため、来年度は市町村森林整備計画の樹立もあることから、様々な見直しや森林経営管理制度に係るゾーニングの設定等に活用することができる。そのときには、協議会において委員からの知恵を借りたい。

【委員】

シカが増えていると思う。

【委員】

通常、餌の少ない冬季はオスとメスで混群するが、五日市地域について言えば、8割がオスである。1歳半で出産が可能となるメスの群れは奥山にあり、オスの群れに加われば爆発的に増え、現在はぎりぎりの状態である。市町村森林整備計画には用材に関するだけでなく、バッファゾーンや生物多様性、獣害対策等に関することを盛り込むことにより、次の世代につながる将来の森づくりを進めてもらいたい。

【委員】

ニホンカモシカも増えていると思う。

【委員】

ニホンカモシカは国の天然記念物であり、駆除の対象にできる計画を策定している県においては、年に数十頭が捕殺されている。

6 閉会【市川副会長】